

# 気象情報を活用して気候の影響を 軽減してみませんか？

気候は様々な分野に影響を及ぼしています。  
特に、**気温**は日々の生活に関係しています。

## 農作物への影響

- ・低温 / 高温による生育不良
- ・大雨や干ばつによる被害



## 小売への影響

- ・低温 / 高温による衣料や  
家電販売への影響



## 健康への影響

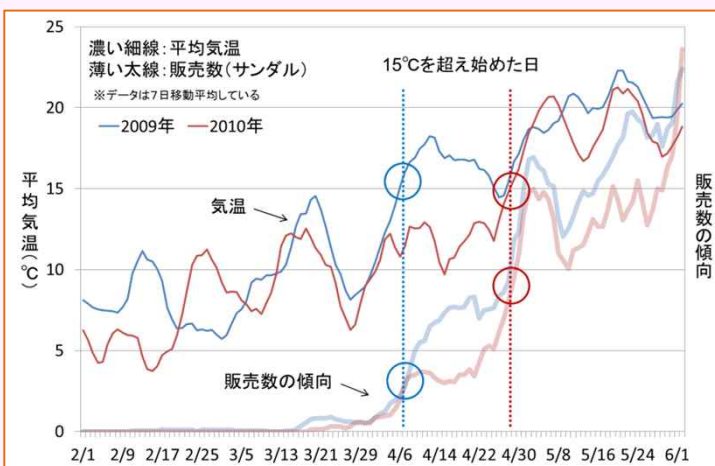
- ・高温による熱中症リスクの増大



たとえば**気温と売り上げの関係**を例にあげると・・・

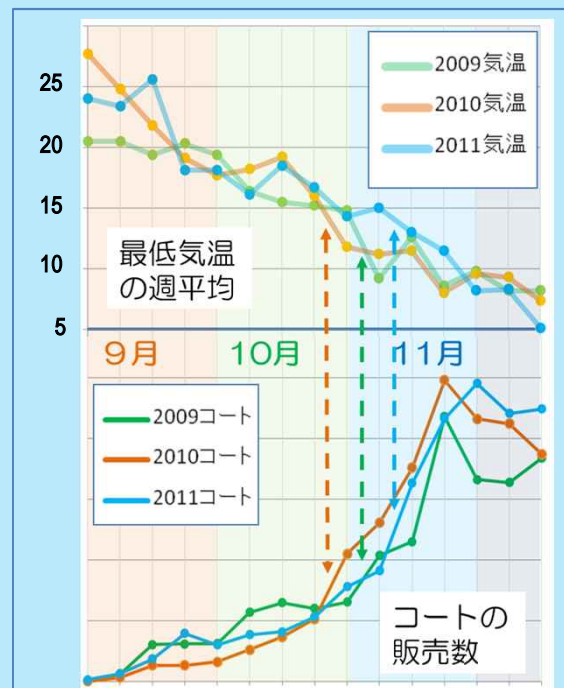
### 平均気温とサンダルの販売数

平均気温が15 を超えるあたりで、  
販売数の急上昇が見られます。









### 最低気温とコートの販売数

最低気温が15 を下回る頃から、  
販売数の急上昇が見られます。



そこで・・・週間天気予報より先  
(2週目)の**予想気温**を有効活用！

## 2週目の予想気温とは・・・ 8日先からの1週間

日付	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木
高松							
府県週間予報へ	- /14 -/10/10/10	9 /15 10/10/20/20	8 /16 20	8 /17 20	10 /18 60	9 /15 30	7 /15 30
			A	A	C	B	A

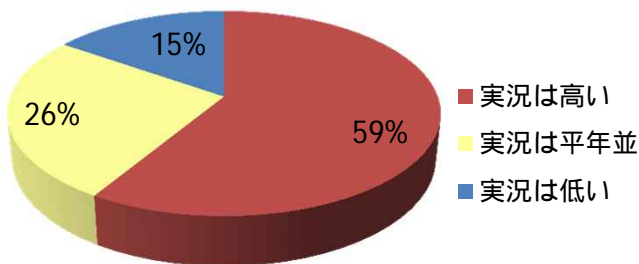
週間天気予報  
から先は？

日々の気温の予想は難しいが、  
1週間の平均気温だと精度が高い

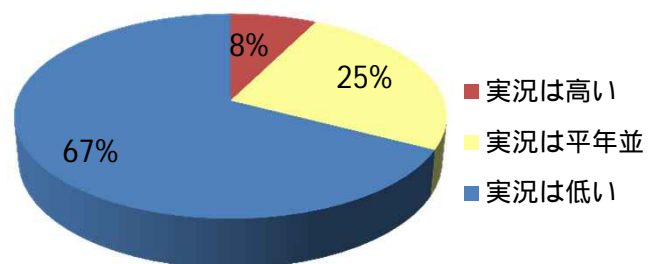
8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木
1週間(7日間)の平均気温						

## 2週目の予想気温はこんなに当たる！

「高い」と予想した場合



「低い」と予想した場合



「高い」または「低い」と予想した場合の適中率は高い

対象とする現象：7日平均気温 地域：四国地方 検証期間：1981～2010年  
過去30年間の観測値の高い方から10年分を「高い」、真ん中の10年分を「平年並」、低い方の10年分を「低い」として3階級に分けています。  
過去30年間の観測値を平均したものを平年値としています。

## 2週目の予想気温を使って対策を!!

### 2週目の予想気温の利用（異常天候早期警戒情報や季節予報など）

気候情報を適切に利用し、対策を取ることで、気候の影響による損失を回避・軽減できる可能性があります。

・今後、以下が予想されていたら

[販売] 店頭が目立つ位置に 以下で売り上げが伸びる商品を陳列するなど



### 関連サイト

・気象情報を活用して気候の影響を軽減してみませんか？

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/index.html>

・過去の気象データのダウンロードツール

<http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

・2週目の気温予測：高松（毎週月・木曜更新）

[http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/probability/guidance/index\\_w2.php?n=47891&l=6](http://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/probability/guidance/index_w2.php?n=47891&l=6)

なお、対策実施には、費用対効果を十分に考慮する必要があります。また、情報の利用に際しては、季節予報の不確実性など、気候情報の性質を十分に理解したうえで適切に利用する必要があります。